



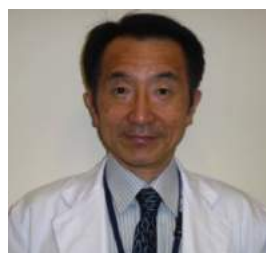
## ☆☆19<sup>th</sup> ISRHML meeting (国際母乳哺育学会)のお知らせ☆☆

テーマ：母乳育児を支援、保護、推進する  
－ Biology から policy へ －

ISRHML (The International Society for Research in Human Milk and Lactation) は、母乳分泌・哺乳生理の基礎的あるいは臨床的研究を主とする国際学会で、2年に1回世界各国で開催。今回は第19回で、アジアで初の開催です。



Conference Organizer  
Sharon Donovan PhD,  
RD  
(Professor of Division  
of Nutritional Sciences,  
University of Illinois)



Conference Organizer  
Katsumi Mizuno MD, PhD  
水野 克巳 (昭和大学医学部  
小児科 主任教授)

と き：2018年10月6日(土)-11日(木)

ところ：湘南国際村 国際会議場 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39

<http://www.shonan-village.co.jp>

昭和大学江東豊洲病院 プレカンファ・ミーティングのみ

東京都江東区豊洲 5-1-38 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/access/>

国際母乳哺育学会 (International Society for Research in Human Milk and Lactation : ISRHML) と科学組織委員会は、2018年10月6-11日に神奈川県の湘南国際村センターにて第19回大会を開催いたします。今回がアジアで初めて開かれる大会であり、ISRHMLの目標である世界各国からの優れた研究者の参加と地球規模のネットワークの拡大を示すものとなるでしょう。皆様のご参加をお待ちしています。

会場は風光明媚な逗子です。10月はからりと晴れわたり、会場から美しい富士山が見えることもあります。美しい海岸と歴史の街である鎌倉への遠足も企画しております。最高の学術的水準の学会であることに加え、日本で最も美しい場所の一つで開かれる大会でもあります。

大会のテーマは「母乳育児の支援、保護、推進：生物学からポリシーへ」です。プログラムは母乳と母乳分泌に関する分野の世界的に著名なエキスパートを迎え、基礎科学からエビデンスに基づくポリシーまで多岐にわたっています。

開催予定：

10月6日(土)プレカンファレンス・ミーティング	昭和大学 江東豊洲病院
10月7日(日) プレカンファレンス・ワークショップ	湘南 国際会議場
10月8日(月)-11日(木)：フルカンファレンス	湘南 国際会議場

10月6日は、東京でプレカンファレンス・ミーティングが開催されます。こちらは日本の担当者が企画したもので、会場は昭和大学江東豊洲病院です。日本の研究者や臨床家をお呼びしての講演で、ISRHML 大会とは別料金（10,000円）で参加しやすくなっております。

10月7日の プレカンファレンス・ワークショップ：は参加型のワークショップで、湘南国際村にて2つ開催されます。カンファレンスは2つが同時進行の分科会で行われますが、午前午後同じプログラムですので、参加者はどちらにも参加できます。本大会とは参加費が別途です。

10月8-11日が本大会です。参加しやすい日割り参加料金が設定されております。学割（証明書が必要）や会員院割引料金もあります。詳細はサイトを参照ください。

一般演題（ポスター）申し込みは閉め切られました。国内国外含め180の演題申し込みをいただきました。

事前登録／宿泊のお申込み／そのほか詳細は次より <https://www.shonan-village.co.jp/isrhml2018/>

： 参加費の早期割引料金あり ～6月30日 通常料金 7月1日～9月1日  
associate membership 申し込みに関しては下記を参照下さい。

<https://www.isrhml.com/i4a/pages/index.cfm?pageid=3284>

プログラム（下記以外はサイトでご確認ください）

● 6日（土）プレカンファ・ミーティング 10:00 - 16:00

使用言語：英語（同時通訳あり） CERPs 申請予定

セッション1：司会 水野克己

菊水健史（麻布大学） Mother infant bonding: neuroendocrine regulation

黒田公美（理化学研究所） Neurobiological basis of parental care and infant attachment in mammals.

友田明美（福井大学） Preliminary evidence for ventral striatum dysfunction in children with attachment disorder due to child maltreatment

ランチョン 板橋家頭夫

セッション2：司会 名西恵子

北村俊則（北村メンタルヘルス研究所） Maternal bonding towards an infants and bonding disorders: causes and consequences

堀内成子（聖路加国際大学） The effect of midwifery care: Stimulation on oxytocin release

名西恵子（東京大学） Effect of enhancing breastfeeding self-efficacy on breastfeeding and sychometric outcomes

● 7日（日）プレカンファ・ワークショップ（参加型ワークショップ） 使用言語：英語

講演部分は同時通訳つき。

グループワーク部分は日本語グループを作っていきますので、日本語での参加が可能です。

**WS1** : Trials and Tribulations or Forming 'Truly' Evidence-Based Policy

真にエビデンスに基づいた政策の策定への  
艱難辛苦

Speaker : L.Grummer-Strawn (WHO)  
Maaïke Arts (Unicef)  
Cria Perrine (CDC)  
Tomoko Seo (ABM)

**WS2** : Best Practices for Conducting Human Milk Studies Globally

ヒト母乳の研究を世界規模で行うためのベスト  
プラクティス

Speaker : Casavale K. (Office of Disease Prevention and Health Promotion)  
McGuire S. (Washington State Univ.)  
Allen L. (Western Human Nutrition Research Center)  
Morrow A (University of Cincinnati) .

ワークショップ1の目標：この参加型ワークショップでは、WHO、UNICEF、CDC、ABMなどの機関で科学的な知見をどのようにして政策の策定に活かすのかを討議します。前半は、各機関からの演者が推奨する政策を決定していくまでに直面する様々な問題についてケースを提示します。後半は、参加者の皆さまに、議論のある母乳育児のトピックについて政策を策定していくロールプレイをして頂きます。

ワークショップ2の目標：世界中で現在進行中の研究例を用いて、母乳と母乳分泌に関する研究をもっとも効率よく行うためにはどうするかを話し合うことです。このワークショップには母乳の分析と研究のためのヒト母乳貯蔵庫の設立の可能性についてのディスカッションを含みます。

● 10月8日(月)-11日(木)：本大会： 注目のセッションの紹介

\*TBD：Short talks from submitted abstracts

10月8日 ・セッション2： Highlights of Human Milk and Lactation Research in Asia

アジアにおける母乳と母乳分泌に関する研究のハイライト

Speaker： Tang K. (中国)、Choi S. (UK)、水野克己 (日)、Poh BK. (マレーシア)

・セッション3： Omic Approaches to HM and infant Outcomes

ヒト母乳と乳児のアウトカムへのオミックスによるアプローチ

Speaker： Williams J (USA)、Bode L (USA)、Slupsky C (USA)、Geddes D (豪)

10月9日 ・セッション4： Maternal Nutrition, Breastmilk Composition, and Infant Nutritional Status

母親の栄養、母乳の組成、乳児の栄養状態

Speaker： Kelleher S (USA)、Allen S (USA)、Dewey K (USA)、TBD\*

・セッション5： Breastfeeding and Maternal Health 母乳育児と母親の健康

Speaker： Chowdhury R (インド)、Gonzales de Cosio T. (メキシコ)、Jordan, S (豪)、TBD\*

10月10日 ・セッション6： Human Milk Banking in the 21st Century 21世紀の母乳バンク

Speaker： Hoban R. (カナダ)、Meier P. (USA)、O' Connor D. (カナダ)、Israel-Ballard K. (USA)

10月11日 ・セッション7： Scaling up Infant and Young Child Feeding (IYCF) Programs Globally :

The Role of Complex Adaptive Systems Frameworks

乳幼児栄養のプログラムを世界規模で拡大する：複雑適応系の枠組みの役割

Speaker： Perez-Escamilla R. (USA)、Merewood A. (USA)、Safon, C. (USA)、TBD\*

交流の機会： 権威ある研究者と若手研究者や学生との交流の機会は、フォーマルなものからインフォーマルなものまでたくさん設けられています。The ISRHML Trainee Interest Group (ISRHML 若手研究者の会)は、学生や若手研究者のためのプログラムを計画しています。

お問合せ先： ISHRML MEETING 日本事務局  
事務局長 水野克己  
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8  
昭和大学医学部小児科  
TEL：03-3784-8709



# Overview Daily Schedule

Time	土曜日 2018年10月6日	日曜日 2018年10月7日	月曜日 2018年10月8日	火曜日 2018年10月9日	水曜日 2018年10月10日	木曜日 2018年10月11日
8 - 8:30 AM		朝食と受付	朝食と受付	朝食と受付	朝食と受付	朝食と受付
8:30 - 9 AM						
9 - 9:30 AM						
9:30 - 10 AM		ワークショップ1 プレゼンテーション	閉会式	集合写真	Mary Gyorgy 教育講演	Session 7
10 - 10:30 AM		ワークショップ2 プレゼンテーション	Session 1 開会基調講演	Session 4	Session 6	
10:30 - 11 AM			コーヒーブレイク	コーヒーブレイク	コーヒーブレイク	
11 - 11:30 AM						
11:30 - 12 PM		ワークショップ1 グループ討論 (日本語で参加可能)	Session 2	Session 4	Session 6	Session 7
12 - 12:30		ワークショップ2 グループ討論 (日本語で参加可能)	ランチ			
12:30 - 1 PM		ワークショップ1 プレゼンテーション	ランチ	ランチ、総会	ランチ	閉会式、ISHRM 2020へ向けて
1 - 1:30 PM		ワークショップ2 プレゼンテーション	Session 3	Session 5	Session 6	
1:30 - 2 PM			Session 3			
2 - 2:30 PM			Session 3			
2:30 - 3 PM	ISHRM 参加者 到着					
3 - 3:30 PM						
3:30 - 4 PM						
4:4 - 90 PM		湘南国際村へ無料シャトルカー バス				
4:30 5 PM			コーヒーブレイク			
5 - 5:30 PM			教職、展示	教職、展示		
5:30 - 6 PM						
6 - 6:30 PM						
6:30 - 7 PM		夕食	夕食	夕食		
7 - 7:30 PM		懇親会	懇親会	夕食	夕食	ガラディナー
7:30 - 8 PM						
8 - 8:30 PM						
8:30 - 9 PM			ポスターセッション 1	ポスターセッション 2		